

ONLY 1 オンリーワン 企業紹介

茂木和哉株式会社

売れた商品の影で日の目を見なかった商品も。「失敗をそのまま終わらせたくないんです」と語る茂木代表は、秋田の農作物を使った化粧品や石鹸も開発中。

可能性は自分で掴む 挑戦を続ける洗剤ベンチャー

秋田県出身である茂木代表が興した洗剤ベンチャー。

自身の名を冠した洗剤「茂木和哉」は累計販売数150万本以上を誇る大ヒット商品となる。「汚れ落とし研究家」として全国のテレビ番組やイベント、SNS等で日々情報を発信している。

良いものを作る=ゴールではない 継続的な情報発信が力になる

ボトルに大きく書かれた「茂木和哉」の文字。洗剤コーナーで、あるいはテレビ番組やインターネットでその名を目にしたことがある人は多いだろう。実はこの商品、秋田の会社が開発しているということをお聞きだろうか。その名は茂木和哉株式会社。代表を務める茂木和哉氏が長年の研究と努力の末に開発した「茂木和哉」シリーズは累計販売数150万本以上を誇る大ヒット商品となっている。

「洗剤づくりは独学です」と笑う茂木代表は、工業薬品や業務用洗剤を扱う会社に就職後、既存の洗剤では落としきれない温泉施設などの頑固な水垢への依頼に応じていくうち、洗剤づくりを自然と始めていたという。

「難易度の高い汚れに挑戦するのが面白く、やりがいにも繋がりました。市販の洗剤を手に入れては一から同じように作ってみる。料理と同じで、何度も配合を変えながら試行錯誤を繰り返すうちに自分だけの洗剤が完成していきました」。

その後、独立した茂木代表であったが、自信を持って作ったはずの商品は、業務用ということもあってか思うように売れなかった。

茂木代表は営業戦略を改め、野球ユニフォームの泥汚れや道着汚れなど“家庭のリアルなお困りごと”を解決する専用洗剤を開発した。その際に重視したのが情報発信の強化であり、「汚れ落とし研究家」としてのキャラを活かし、自らが広告塔となることで商品の魅力を伝え、知名度を広げていった。

「一目で泥汚れの落ち具合がわかるような動画を作ってみたり、汚れ落としに関するブログを始めてみたりなど、10行の記事作成に半日かかるくらいパソコンは苦手でしたが、一年間、続けることで習慣になっていきました」。

「茂木和哉」が誕生し、大ブレイクしたのも、このブログの読者であったファンがきっかけとなった。

茂木代表は現在、「Facebook」や「Instagram」、「YouTube」、「TikTok」と様々なターゲットに直接届くSNSを駆使し、情報発信に余念がない。

「自分の商品を知ってもらうために何ができるのか。地方にいるからこそ、出来ること、やらなければいけないことがあります。大切なのはとにかく始めてみることに続き、続けていくこと。それが大きな可能性に繋がると思います」。



代表取締役
茂木 和哉
Kazuya Motegi

茂木和哉株式会社

〒014-0041
秋田県大仙市大曲丸子町8-18
TEL. 0187-73-5321
<https://www.kireipro.jp/>

会社概要

各種洗剤及び洗浄剤の製造・販売、
新商品企画開発及び製品受託製造
(OEM)

